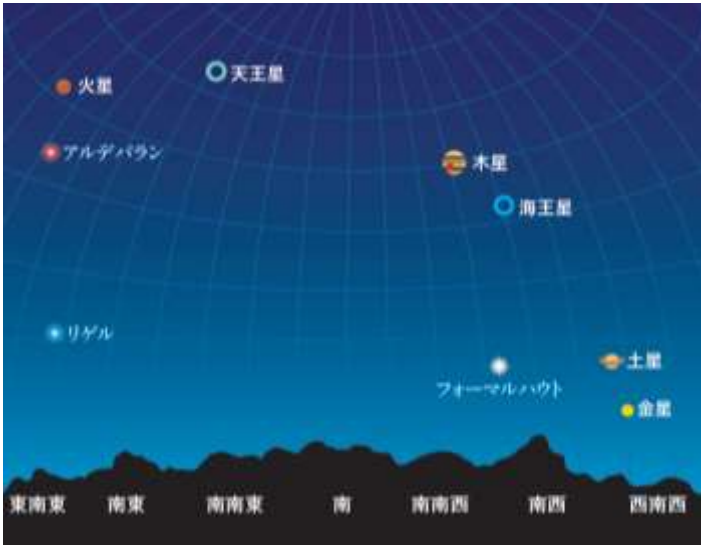


● 1月 夕方に6惑星が見られる



1月の夕方に金星、火星、木星、土星が輝きます。望遠鏡では、天王星と海王星も観察できます。上旬には、ここに月も加わります。

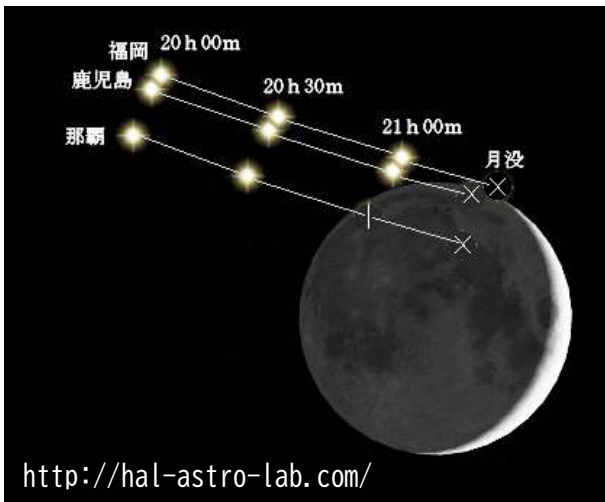
(c)天体観測手帳 2023

● 1月 ズィーティーエフ (ZTF) 彗星 (C/2022 E3) が6等前後で見える！



1月～2月のころ、ズィーティーエフ (ZTF) 彗星が、北の空・北極星 (ポラリス) の近くで明るくなり、町あかりが少ない場所では、双眼鏡でも見えるようになると予想されています。太陽に最も近づくのは1月13日、地球に最も近づくのが2月2日です。

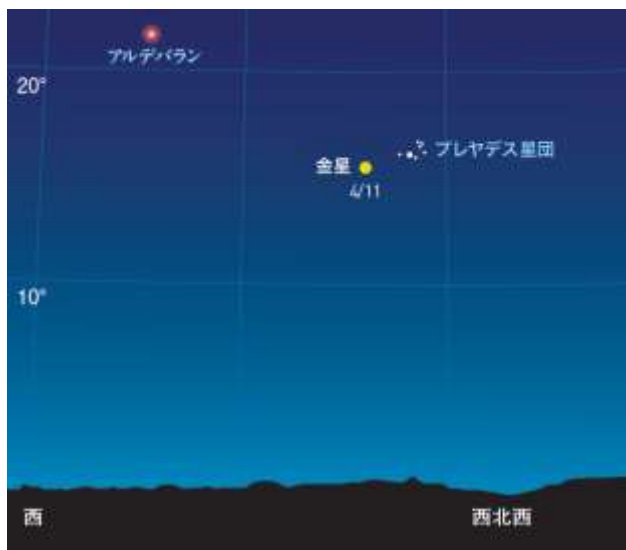
● 3月24日 金星と月がならぶ



3月24日には、金星と細い三日月が並んで見えます。金星と細い月の共演は、本当にきれいです。

明石では、細い三日月の上に金星が輝いて見えるのですが、実は、この時、九州の南部や沖縄県、南西諸島では、金星が月のうしろに隠れる「金星食」が起こります。月が沈む前に、金星が月のうしろに隠れ、金星を隠したまま地平線の下へと沈んでいきます。

● 4月11日 プレアデス星団(すばる)と金星の接近

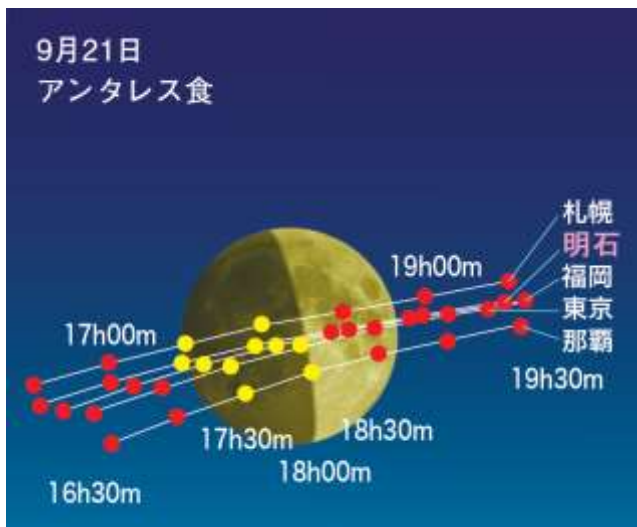


おうし座のプレアデス星団（すばる）の近くで金星が輝きます。

4月10日ごろから13日ごろまで楽しむことができます。双眼鏡での観察がおすすめです。

(c)天体観測手帳 2023

● 9月21日 アンタレス食



さそり座の1等星アンタレスが月に隠される「アンタレス食」が見られます。西日本ほど日没が遅くなるため、背景の夕空は明るくなります。

(c)天体観測手帳 2023